

「日々の理科」(第 2895 号) 2022, -7, 10

「電気自動車初体験 (1)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所 研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

日本は先進国の中でも、自動車の電氣化が非常に遅れている。乗用車はいまだにガソリン車がほとんどで、電気自動車はまだ「珍しい」存在と言える状態だ。高速のパーキング・エリアやコンビニの駐車場には、電気自動車の充電施設をよく見かけるようにはなつたが、実際に充電している車はほとんど見たことがない。



私はここ十数年は軽自動車ばかり乗っている。今乗っているのも、日産の「モコ」という軽自動車だ。都内で乗るには小回りが効くし、狭い駐車場にも停められる。高速でもそこそこ走るが、登坂性能や加速性能は良いとは言えない。もともと中古で購入し、もう何年も乗っているのだから、あちこちにガタがきている。そろそろ買い換えたいと思っていた。



そこに、日産がついに軽電気自動車の発売を発表し

た。私は大いに興味を持ち、さっそくカタログを請求すると、本体カタログに加え、充電の案内や、電気自動車専用のサービスなど、何冊もの冊子が届いた。

軽自動車とはいえ、販売価格は高い。半分ぐらいは蓄電池のコストだろう。しかし、国からの補助金と文京区からの補助金を合わせると、約 100 万円の補助を受けられるという。これは非常に魅力的だ。



購入するかしないかは別にして、私は「電気自動車」というものを運転したことがなかったので、「試乗」を申し込むことにした。日産のホームページで調べると、最寄りの営業所が見つかり、そこから試乗日時の予約までできた。日曜日の午前中に試乗をお願いしておいた。



これが日産初の軽電気自動車「サクラ」である。見た目は普通の軽自動車と変わらない。まずフロントを通り、店の人からさまざまな説明を受け、私もいろいろ質問をしていたら、1 時間ちかく経ってしまった。それだけ興味があったということだろう。試乗は営業所の人と同乗してくれて、説明を受けながら運転できるというので安心だ。どんな乗り心地なのだろう？